



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30
 例会場：卯辰山・ホワイトハウス
 事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所
 TEL <0762> 63-1151
 会長：岡田 林太郎 幹事：釣見 栄一
 情報委員長：清水 忠

1977・8月11日

第96号

看護面からみた医療の受け方



国立金沢病院看護部長

藤川 千鶴子氏

臨床看護婦として約13年間内科、特に糖尿病を主として医療に携わって来ました。

糖尿病は食糧事情が良くなった関係で少しずつ増加の傾向にあります。

内科の看護婦として心筋硬塞……等、心臓に疾患のある患者を見るにつけ、それにならぬ様にするにはいかにしたら良いかをドクターより教わり、又一步進んでこれを起すであろう病気、所謂、成人病の予防に力を注いでいます。最近の医療は治療よりも予防。日常生活を上手にコントロールしながら疾患を起さないようにする、つまり予防医学が重視されつつあります。看護の方もそれに合わせて、病人をつくらない事、再び病院に戻らない様にするには……を看護婦は考え、又保健婦、助産婦と協力、ドクターの指導を得ながらその予防に当らねばなりません。

再発防止の為、より良い家庭療養はいかにしたらよいかなど、直接患者さんより、アンケートをとり意見を聞く事もその方法の一つなのです。

しかしやむをえず医療を必要する人に実際看護をする側から感じたことを述べてみると

① **ドクターを信頼する。**

全身全霊で寄りかかればドクターも当然一生懸命、看護する方から看ても直りが早い。

② **看護婦さんには我が儘を。**

小さい事でも訴える患者さんは治療しやすく、がまんする人程心配。

③ **注射部位を大きく広げる。**

看護婦さんに注射するところを十分に見せる。医療事故……等防止の為に。

④ **解らない事は説明を求めよ。**

薬の飲み方など間違わない為に。

おわりに、成人病は医師、看護婦、保健婦だけで守れるものではありません。自分の体調に合った予防、自己管理を十分に健康である事を念じています。

—金沢北RC例会卓話より— (文責 米沢 修)

ロータリアンの茶の間から 水の芸術“漆に生きる”

大場 勝雄 君

土用炎天のつづく午後、新築の大場先生を訪問しました。冷房のある涼しい和室で先生を囲み、米沢会員、桜井会員と共に漆一途に生きられた先生のお話を聞くことにしました。

先生は漆師のお父さんと、その実家の祖父さんから三代目になります。お父さんの指導を十年余り受けその後東京に出られ松田権六先生につかれて二年勉強され、更に故郷に帰り、当時戦時中、遊部石齋氏の下に海軍省の御用を務められました。その間、昭和二十年九月芸術保存作家に第一作を出品され、資格者となりました。当時、先代や実家の皆さんと会社を益々大きくされ、デパートを始め、全国問屋等に漆工芸品販売を広め、産業に協力されました。但、先生は昭和二十三年、自分の作品の勉強のため独立され、その後今日まで芸術作品一途に過されました。



先生は今春、県の無形文化財として指定を受けられ、又金沢美大に教授として迎えられました。先生に今日になって、どうして学校などに勤められたかと質問しましたら、“私は加賀蒔絵の後継者を一人でも、二人でも立派に育成せんが為の奉仕と答えられました。昔の従弟制度のむつかしさ、今日的教育の欠点等を克服して、よき後継者の出来る事で期待するものであります。現在先生の家にも三人の内弟子がおられて”丁度その日も、この暑さの中で小さな机に向い、膝をつき合せ、脇目も触れず終始伏つ向いて努力されている姿を見て、頭の下る思いがしました。

先生の技術は平文（ひょうもん）と言ひ、中国では平脱（ひょうだつ）とも言われ、金属の板金を切って、漆の面に張り、その上を何辺か又漆を重ねる蒔絵の技術に最も困難な仕事とされ、現在日本中他になし、先生が第一人者と言われていす。こうした仕事は文献も無く、師匠から弟子に五感を通して伝へられるものであります。先生は講議は一切しないで、すべて自の手で、自身の肌で触れて覚えるというすばらしい教育方針で進められています。先生ならではとお聞きしました。

丁度その時、先生は一個の木箱から小さい蒔絵の手箱を見せて下さいました。それは桃山時代のもので古くすばらしい作品でありました。そして先生は、今日いかに芸術が進歩したと言うが、こんな貴品と優雅さ、それに見えない処までに作者の深い愛情と思いやりを感じさせる作品が出来るだろうか。四百年も五百年以前のこの作品と比べて、今日どれだけに進歩しているのだろうか。先生の言葉は荒く、力強く、熱をおびて、私達に深く感動を与えました。今も眼をつぶればありありと美しい夢を呼ぶ様な小箱が見られます。

最後に先生の細心の設計となるお家や仕事場を拝見し、モダンでその中に古風な先生の作品そのものの様なお部屋を拝見し、お別れをしました。短い時間でしたが、ほんとうに良い勉強をさせて頂いた事を感謝します。

芸漆のきびしき窓に蟬時雨

(吉山宥海 記)

ロータリアンへの遺訓



昭和49年9月12日の当クラブ第48回例会で、坂本惣平さん（高知県中芸RC会員）が、「偉大なるロータリアン二宮尊徳」と題してご講演くださった。その要旨を清水情報委員長の要約によれば……

「二宮尊徳……戦前は、勤勉と節約のシンボルとして近代日本人の思想形成の偶像であり、指標であった。現代は、その思想を解し得ない若者によって偶像の座をおろされようとしている。しかし、尊徳の偉大さは、単なる勤勉家たる点にあるのではない。その思想と行動の根底には、自由と平等と博愛の精神があり、この世を良くしようとする至誠の念があった。物質に偏せず精神にかたよらず、自己に偏せず他人にかたよらず、物心一如、自他一如、一円融合の思想に徹した。この思想と行動こそ、ロータリーの奉仕の真の姿であ

る。ロータリー以前の偉大なるロータリアンとして、二宮尊徳を、われわれは今一度見直す必要があると思う」

以上は、坂本さんの尊徳観であるが、一方、大阪RCの塚本義隆バスターガバナーは、もう一人の強烈な尊徳信者を紹介しておられる。それは、戦前の大阪RCの指導的役割を果たした土屋大夢(之作)氏で、日本操觚界の大先輩であるが、二宮尊徳の研究者で、深く尊徳を思慕し傾倒し、ロータリー以前に生まれたロータリアンであるとして、日本中はもとよりアメリカにまで出かけて、尊徳に学べと吹聴して廻ったということである。

私は、二宮尊徳の知識は浅いが、坂本さんは尊徳の道の実践に努力した人であることは事実で、生糸の生産に生涯をかけ、事業の経営と自らを律するには厳しく謙虚に、他人に対しては和顔愛語思いやりと温情に徹した、正に当代ロータリアンの標本のような人であった。

この坂本さんと私は、ロータリーが取りもつ縁で結ばれ、ここ数年来、深い友情が交わされ、私も多くを学んだのである。が、去る2月旅行中の京都にて急逝され、私は親を失ったように落胆した。告別式に馳せ参じたかったがその意を得ず、漸く去る7月始め墓参を兼ねて坂本さんの御遺族をお訪ねした。

坂本さんのご健在であった当時の社長室にたたずんで、在りし日の陣頭指揮の本陣に感慨こめて追憶を新らたにした次第であるが、特に私の胸を打ったのは、坂本さんが死の数日前、自ら会社工場の掲示板に白墨で書かれた言葉が、今は社員への遺訓となり遺書となったが、会社ではこれを永遠に伝え残すべく樹脂加工して、遺影と共に会議室に保存されている。その全文は……。

心を形で示す工夫を大切にしよう。

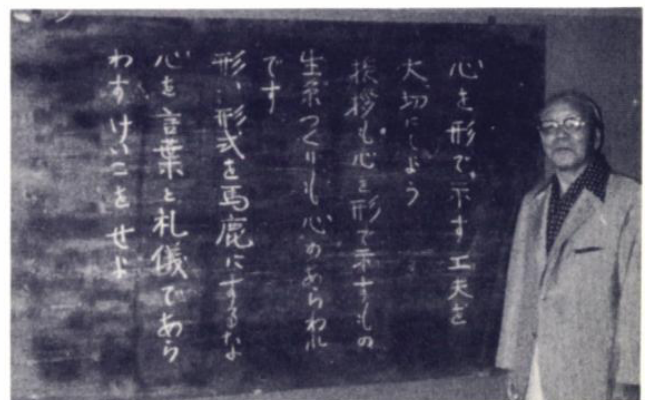
挨拶も心を形で示すもの。

生糸づくりも心のあらわれです。

形、形式を馬鹿にするな。

心を言葉と礼儀であらわすけいこをせよ。

坂本さんは、「売って喜び、買って喜ぶ取引をします」と宣言し、事業を健全に繁栄せしめ、ロータリーの心を実践し、その直前まで高知県教育委員長として貢献し、その遺体は生前からの遺言によって献体され、その上、不滅の数々なる遺訓を後世に残された。正に偉大なるかな言行一致の巨人であった。



第192回例会

◆ 7月28日(休)晴 ホワイトハウス 12:30~13:30



1. 講話
"看護面からみた医療の受け方"
国立金沢病院看護部長 藤川千鶴子氏
2. 出欠
出席36名、欠席8名
出席率81.21%
ビジター17名
3. 来訪者
金沢RC 辻作次郎君
中村外志郎君

- 北公夫君、山口益弘君
金沢東RC 釜谷勇二君、山本一司君
田川克次君、松尾久義君
小野徳治君
金沢西RC 松本外次君、寛国彦君
進藤太一郎君、坂本宗一郎君
秋常外喜雄君、柚木健君
市原正士君
金沢南RC 小堀外茂次君
4. 会 務 ○友好委員会 例会終了後
○情報委員会 例会終了後大場君宅訪問
5. 幹事報告 ○1977~78年度地区ロータリー情報研究会
9月4日(日) 午前10時~午後3時40分
於 岐阜グランドホテル
出席義務者
会 長 岡田林太郎君
副 会 長 若野三朗君
拡大委員長 中村省三君
修練委員長 小杉善二君
職業奉仕委員長(代理) 二木正樹君
新入会員 沢田哲夫君、上田忠信君
○交換学生 中島信子さんよりお便り受領
○ガバナー月信配布
6. ニコニコBOX ○新築内祝として(岡田、山岸、笠間君にお世話になりました) 水野博君
7. 他クラブ例会変更お知らせ
○金沢東RC 8月22日(月)→午後6時より
ホワイトハウス

8. 今日のニュース 金沢港沖で帝国石油とアメリカのガルフ石油が海底油田の共同開発を計画、10月か試掘と発表、地元の漁民から寝耳に水と反対の声高まる。

第193回例会

◆ 8月4日(休)晴 ホワイトハウス 12:30~13:30

1. 講 話 "JC 青年の船" 会員浅田豊久君
2. 出 欠 出席35名、欠席9名、出席率79.55%
ビジター35名
3. 来 訪 者 津名RC 国本勉君(教育)
砺波南RC 篠原孝二君(建設)
河北RC 森常二君(染色)
金沢RC 坪野俊雄君、平沢寿君
山田政一君、河野良三君
南定雄君、加藤晃君、浅野直久君
渋谷亮治君、北元喜雄君、荒木登君
山口益弘君、中村栄俊君
金沢東RC 柿下正雄君、堀政尋君
平野知康君、松村久夫君
保田肇君、東高熙君、山岸敬信君
山宮外雄君、諸江賢二君
金沢西RC 辻義治君、黒川存君
寛国彦君、田川一明君
森岡弘君、秋常喜雄君、東正樹君
金沢南RC 古作文衛君、西原雅君
綿谷一郎君、柿木英夫君

4. 会 務 ○職業奉仕委員長
職場対抗野球大会中間報告
多数ご参加下さい
5. 幹事報告 ○バナー交換 津名RC(兵庫)国本勉君
○次回8月11日(休)の当クラブ例会は、早朝例会です。午前6時30分より観音院
6. 御誕生日祝 沢田哲夫君、土原一二君、二木正樹君
7. 今日のニュース カナダ、ケベックの東にあるポエヌグレーク湖で、長さ7.5メートル、太さ3メートルの怪獣あらわれ、イギリス ネス湖の怪獣と共に、夏の涼しい話題を提供している。

7月例会出席状況

出席率(97.73%)

会員名	月 日				7月	会員名	月 日				7月
	7/7	7/14	7/21	7/28			7/7	7/14	7/21	7/28	
浅田 豊久	○	○	M	○	◎	大村 精二	○	○	○	○	◎
出島 敬識	○	○	M	○	◎	桜井 健太郎	○	M	○	○	◎
東元 潔	M	○	○	欠	×	沢田 哲夫	○	○	○	○	◎
平尾 信明	○	○	○	○	◎	柴田 三郎	○	○	○	○	◎
本江 他美夫	M	○	○	○	◎	清水 忠次	○	M	○	M	◎
二木 正樹	○	○	○	○	◎	塩村 喜代次	○	○	○	M	◎
上 次作	○	○	M	○	◎	庄田 厚郎	○	○	M	○	◎
笠間 恒次	○	○	○	M	◎	高田 全吉	○	○	○	○	◎
加藤 悦光	○	M	○	○	◎	俵 外代	M	○	○	M	◎
木島 光仁	○	○	○	○	◎	土原 一一	○	○	○	○	◎
小林 隆二	○	○	M	○	◎	佃 一成一	○	M	○	M	◎
小野 民男	○	○	○	○	◎	釣 見栄	○	○	○	○	◎
小杉 守男	○	○	○	○	◎	上野 忠三	○	○	○	○	◎
小杉 善二	○	○	○	○	◎	若野 信朗	○	○	○	○	◎
増江 泰智	○	○	○	○	◎	山上 啓介	○	○	○	○	◎
松本 智博	○	M	M	○	◎	山岸 与作	M	M	M	○	◎
水野 市太郎	○	○	○	○	◎	米沢 繁男	○	M	M	○	◎
宗田 幸雄	○	○	○	M	◎	米沢 修一	○	○	○	○	◎
長野 幸三	M	欠	欠	欠	×	吉田 昭炳	○	M	○	○	◎
中村 省三	○	○	○	○	◎	由井 賢海	M	M	○	○	◎
大場 勝雄	M	○	M	○	◎	吉 山	○	○	M	○	◎
岡部 三郎	○	○	○	○	◎						
岡田 林太郎	○	○	M	○	◎						